

明るい選挙

啓発ポスター конкурール

平成30年度
全国優秀作品集



公益財団法人 明るい選挙推進協会

この冊子は、宝くじの社会貢献広報事業として助成を受け作成されたものです。



ごあいさつ

公益財団法人明るい選挙推進協会会長 佐々木 紲



公益財団法人明るい選挙推進協会は、都道府県選挙管理委員会連合会との共催で、全国の小学校、中学校、高等学校の児童、生徒を対象に、平成30年度明るい選挙啓発ポスターコンクールを実施しました。ご協力いただきました全国の選挙管理委員会・明るい選挙推進協議会及び教育委員会・学校の皆様に御礼申し上げますとともに、応募してくださいました児童生徒の皆さんに感謝申し上げます。

このコンクールの目的は、明るい選挙を実現するためのポスターを描くことで、将来の有権者である児童生徒の皆さんに選挙、政治への関心を持ってもらうきっかけを作ることです。

30年度の応募学校数は8,795校、応募者数は142,251人でした。14万人を超える皆さんの応募があったことは、28年7月に執行された参議院議員通常選挙、また、29年12月執行の衆議院議員総選挙が公職選挙法の改正により70年ぶりに選挙権年齢を18歳以上に引き下げられて初めての衆・参両院での国政選挙となり、一部高校生も有権者として投票に参加されるなど関心が高まったことによるものと考えられます。選挙を身近なものとして、日ごろから関心を持ってもらえるよう期待したいと思います。

審査は、市町村における第1次審査、都道府県における第2次審査、当協会における中央審査を経て、文部科学大臣・総務大臣賞（連名）18作品、公益財団法人明るい選挙推進協会会長・都道府県選挙管理委員会連合会会長賞（連名）60作品を決定しました。都道府県、市区町村においても、それぞれ賞を設け、表彰式や展示会が行われました。

この作品集は、次回以降の作品募集に資するため、大臣賞・会長賞を一冊にまとめたものです。主権者教育の一環としてもご活用いただければ幸いです。

目 次

ごあいさつ	-----	2 頁
目次	-----	3 頁
明るい選挙	-----	4 頁
明るい選挙啓発ポスターコンクールの意義と第3次審査の視点	-----	6 頁
文部科学省初等中等教育局視学官 東良雅人		
平成30年度明るい選挙啓発ポスターコンクール作品募集要項	-----	9 頁
平成30年度明るい選挙啓発ポスターコンクール応募状況	-----	10 頁
全国優秀作品		
文部科学大臣・総務大臣賞	-----	11 頁
明るい選挙推進協会会长・都道府県選挙管理委員会連合会会长賞	-----	30 頁

明るい選挙

明るい選挙

民主政治は、国民の意思によって政治のあり方が決まる政治です。代表民主主義国家においては、選挙によって選ばれた代表によって政治が行われますが、主権は国民にあります。選挙は国民が政治に参加する最大の機会であり、民主主義の根幹をなすものです。

国や地方の政治が私たちの意見や要望を踏まえて適正に行われるためには、選挙が公正に行なわれ、代表として相応しい立派な人が選ばれなければなりません。そのためには、国民一人ひとりが選挙制度を正しく理解し、政治や選挙に関心を持ち、候補者の人物や政見、政党の政策を正確に見る眼を備え、大切な自分の一票を進んで投票することが必要です。買収や供應などの不正に惑わされたり、義理人情で投票してはならないことは言うまでもありません。

「明るい選挙」とは、有権者が主権者としての自覚を持って進んで投票に参加し、選挙が公明かつ適正に行われ、私たちの意思が正しく政治に反映される選挙のことです。

明るい選挙推進運動

選挙を明るく正しいものにしようとする運動は古くから行われ、大正時代末に行なわれた後藤新平の「政治の倫理化運動」、青年団の父と呼ばれた田澤義鋪らによる「選挙肅正同盟会」などの活動がその起りです。

男女普通選挙が実現した第2次世界大戦後、昭和26年に行なわれた統一地方選挙で、選挙違反の検挙者が6万人を超えるました。その翌年に予定されていた衆議院選挙に向けての事前運動も激しく行われたので、これではいけないという国民の声が強くなり、新聞社の支援や国会の決議もあって、官民あげての「公明選挙運動」が展開されることになりました。その後名称を「明るい選挙推進運動」と変更し、現在約8万人の方々がボランティアとして参加し、3つの目的を掲げて活動しています。

- ①有権者が、普段から政治と選挙に関心をもち、候補者の人物や政見、政党の政策などを見る眼を養うこと。
- ②有権者が、こぞって投票に参加すること。
- ③選挙違反のないきれいな選挙が行われること。

運動の発端であった「きれいな選挙」については、選挙違反の数は減ってきておりますが、皆無になったわけではありません。「こぞって投票に参加すること」については、近年投票率の低下が大きく、運動の重点はこちらに移ってきてています。「普段から政治と選挙に関心をもってもらう」については、粘り強く活動していかなければと考えています。

明るい選挙推進協議会

明るい選挙推進運動は、全国ほとんどの市区町村に設置されている明るい選挙推進協議会によって進められています。団体によりその構成は違いますが、自治会、女性団体、老人会、青年団など各種団体、公民館などの社会教育関係者、地方紙などマスコミ関係者などで構成されています。教師OB、PTA代表者、公募による参加者もいます。

日常的には身近な暮らしの問題をテーマとする話し合い活動や議会傍聴、政治・選挙に関する講演会の開催、市民まつりなどイベントでの呼びかけなどを行っています。選挙時には駅前など街頭に立ち、投票参加や違反のない選挙を呼びかけています。

啓発ポスターについては、ところによっては明るい選挙推進協議会の委員が、作品募集の依頼のために学校を訪問したり、審査員に加わるなどしております。

また、プレ有権者に対する取り組みとして、小学校、中学校、高校の授業時間、生徒会選挙などにおいて、選挙の仕組みを教えたり、実際の投票箱等を使用して模擬選挙を行うなどの出前授業にも取り組んでいるところもあります。

明るい選挙推進協会

明るい選挙推進協会は、全国の都道府県・市区町村の「明るい選挙推進協議会」を会員とした公益財団法人です。明るい選挙推進運動の全国組織として、明るい選挙の実現を目指に、全国約8万人のボランティアの方々とともに活動しています。

明るい選挙啓発ポスターコンクールの意義と第3次審査の視点

文部科学省初等中等教育局視学官 東良 雅人

はじめに

今年度、本コンクールには全国の小学校、中学校、高等学校から142,251点の作品の応募がありました。このように、たくさんの子供たちの政治や選挙権への関心が高まっていることは本当に喜ばしいことだと思います。

形や色で自分の思いや考えを伝えること

この明るい選挙啓発ポスターは、形や色を使って、伝えたい内容を表現する視覚伝達の手段の一つであるポスターを表現方法としています。ポスターは、自分の思いや考えなどを形や色彩を使って相手に伝えるものです。

この活動を通して、子供たちが、明るい選挙に関する対象や事象に豊かに関わり、表現するときに生じた感情や気持ちなどの、よさや美しさ、面白さや楽しさなどを大切にして自分の夢や願い、経験や体験したこと、伝えたいことなどを表したいと思えるようにすることが大切です。また、伝えたい内容には、気持ちや価値観、情報などの伝える目的や、対象、方法、伝えるための条件などがあります。こうした自分の伝えたいことを相手に伝えられるようにするための発想や構想を高めるためには、指導者側の必然性ばかりでなく、目的となる伝えたい内容が子供にとって価値ある内容であり、伝えることの必要性が実感できることが重要です。そのため、子供たちに身の回りの具体的な出来事や場面、人々が生活する姿などに目を向けさせることが大切です。こうした主体的に周囲に働きかけるような活動を通して、気持ちや情報を伝える楽しさを味わわせることを重視し、子供一人一人の実態を踏まえて柔軟かつ適切に明るい選挙について設定することが必要です。そして、子供の表現への意欲が高まるごとに、どのような内容が、どこで、どのような方法で伝わるかという受け手の印象や条件などについても具体的に考えることができます。

このように、子供たちがポスターを描くとき、単に絵を描くことだけにとどまらず、そこには一人一人の子供たちが自己の思いや考えをもったり、選挙というテーマを基に発想や構想したりするなど、子供一人一人の文脈がそこにあり、その過程において様々な学びが生まれます。このポスターコンクールの審査では、単に完成度だけを見るのではなく、それぞれの作品の制作の過程において、子供が何に気付き、考え、何を学んだのかを見つめることを大切にしています。それは、これから社会をつくる子供たちを育てていくことにもつながっていくと考えるからです。

子供一人一人が自分だけの主題を生み出すこと

ポスターを作成する時には、子供たち一人一人が自分の見方や感じ方を大切にして、自身が伝えたい内容や相手に対して生徒自らが強く表したいことを心の中に思い描けるようにすることが大切です。このことは、ポスター作成に際して発想や構想を進める上で基盤となるものです。しかしながら、ポスターは伝えたい相手に伝わることではじめて成立するものです。す

ので、自分で表したい内容を思いのままに自由に主題を生み出すだけではなく、伝える目的や条件を基に、伝える相手の立場や気持ちを尊重することや、伝える内容についても、子供自身の日常の生活体験の中から見付けさせ、主題を生み出せるようにすることが大切です。

毎年配布している、明るい選挙啓発ポスター作品募集パンフレットには、子供たちの発達の段階に応じて以下のようにポイントを示しています。

・ポスター作成のポイント

ポスターは自分の考えたことや情報を伝えるための表現です。自分が表現したいイメージが豊かに伝わるように、ポスターを見る人の気持ちになって絵や文字の工夫をすることが大切です。

・小学校（低学年～中学年）

伝えることと、自分の気持を表現することをはっきりと分けるのではなく、選挙に対する思いや願いのイメージを身近なことや日常の経験などから素直に表現することが大切です。

・小学校（高学年）

「人に伝える」ということを身近な体験や社会に目を向けて、自分なりに考えて「明るい選挙」のイメージをふくらませて表現することが大切です。

・中学校・高等学校

自分が伝えたいことを見る人の立場に立って、何をどのように伝えるのかを考え、絵や文字を工夫して描くことが大切です。

伝えたい相手の見方や捉え方を学ぶためには、相手に一方的に伝える活動を終えるだけでなく、表現したものに基に他の人と交流し合うことも大切です。発達の段階に応じて、表現の受け手となる相手を、見知らぬ不特定多数の人々よりも身近な相手としたり、より多くの他者が共通に感じる伝達のよさやポスター・デザインの美しさなどを考えさせたりすることも、発想や構想の場面でイメージを捉えやすくなります。さらに、自分の考えをお友達などにスケッチなどで主題や途中段階での構想を伝え、客観的な視点から表したものを直接見てもらい、その感想や評価などを受け取ることなども自分の生み出した主題を振り返ったりさらに豊かな主題にしていったりすることにもつながります。

子供一人一人が自分だけの主題を生み出すことを大切にすることは、子供の個性やよさを大切にすることです。子供たちがここで学んだことは、一つの答えにたどり着くことだけが大切なのではなく、答えのない問い合わせに向き合い、一人一人が自分で答えをつくりだすことを通して、物事の多様性に気付いたり、それぞれの違いやよさを尊重する態度の育成にもつながったりしていきます。

● これからの社会を生きる上で ●

文部科学省から平成30年6月5日に公表された、Society 5.0に向けた人材育成に係る大臣懇談会「新たな時代を豊かに生きる力の育成に関する省内タスクフォース「Society 5.0に向けた人材育成～社会が変わる、学びが変わる～」において「はじめに」では以下のように述べられています。

今、我々はかつてなく大きな社会の変革期にいる。

人類はこれまで、狩猟社会から農耕社会、工業社会を経て現代の情報社会に至るまで、生産

手段と社会構造の飛躍的な変化を経て社会を発展させてきた。そして今、次の大きな変革としてSociety 5.0が訪れようとしている。

Society 5.0は、人工知能（AI）、ビッグデータ、Internet of Things（IoT）、ロボティクス等の先端技術が高度化してあらゆる産業や社会生活に取り入れられ、社会の在り方そのものが「非連続的」と言えるほど劇的に変わることを示唆するものであり、第5期科学技術基本計画（平成28年1月22日閣議決定）で提唱された社会の姿である。「超スマート社会」とも言われるSociety 5.0の到来に伴い創出されるであろう新たなサービスやビジネスによって、我々の生活は劇的に便利で快適なものになっていくだろう。

しかし一方で、このような人類がこれまで経験したことのない急激な変化を前に、漠然とした不安の声も多い。（中略）

人間としての強みはどこにあるか。学びや仕事にどのように向き合っていけばよいか。——このような本質的な問いが、改めて問われている。今必要なのは、徒に不安を煽ることではなく、どのような時代が訪れようとしているのかを具体的に考察し、今打てる手は何かを考えることだ。

この中でSociety 5.0における学びの在り方、求められる人材像の中で共通して求められる力の一つとして、「価値を見つけ生み出す感性と力、好奇心・探求力」があります。これから社会を生きる上で、単に、社会の変化にいかに対処していくかという受け身の観点に立つだけでなく、変化を前向きに受け止め、子供たちの答えのない問い合わせに向き合い、一人一人が自分で答えをつくりだす学びは、私たちの社会や人生、生活を人間ならではの感性を働かせてより豊かなものにしたり、現在では思いもつかない新しい未来の姿を構想し実現したりしていくことにつながっていくのではないでしょうか。

おわりに

コンクールでの審査会では、小学校1年生から高校3年生までの幅広い年齢の作品を見させていただきました。応募作品はそれぞれの年齢での表現のよさがあり、その時期だからこそ感じされることや考えされることを大切にした表現でした。どの作品も子供たちが「明るい選挙」という共通のテーマを基に創造性や独創性を發揮した力作ばかりで、毎年そうなのですが、審査に当たってはどの年齢の作品を選ぶときも大変苦労いたしました。審査では、先に述べましたように子供たちの生み出した主題や、創造活動の過程を重視し、単に技術的に優れているだけを評価するのではなく、まずはそれぞれの発達の段階における子供の表したいことやものが感じられるかどうかや、意欲や感性、描くことを通して發揮した発想や構想に関する資質・能力や創造的に表す技能など、創造活動の過程を通した学びを総合的に作品から読み取るように努力しました。

このような質の高い作品が多数応募されるこのコンクールが長年にわたって続けられている背景には、主催者を始め関係者の方々の多大なご努力と、選挙啓発というテーマの重要性を理解して、ご指導いただいた保護者や学校の先生方等の多くの方々のご指導や支援があったからだと思います。今回のコンクールに応募した子供たちは「明るい選挙」というテーマから自分の身の回りや社会に目を向け、自分自身が感じたことや考えたことなどから創造的に発想や構想をし、材料や用具を工夫したり新たな表現方法を考えるなど試行錯誤したりしながらそれぞれの個性やよさを生かして表現したことだと思います。このような子供たち一人一人のよさや可能性、個性の伸張につながるポスターコンクールが今後も引き続き開催されることを心から願っております。

平成30年度明るい選挙啓発ポスター 作品募集（第70回）要項

①趣旨

私たちが豊かで幸せな生活をおくるには、立派な政治が行われなければなりません。その政治は選挙によって選ばれた人たちによって行われます。だから選挙が明るく正しく行われなければなりません。そこで、全国の児童、生徒の皆さんに、明るい選挙を呼びかける印象的なポスターを書いていただきたいのです。

②応募規定 (1)内容

明るい選挙を呼びかけることを内容に、自由に表現してください。

(2)応募資格

小学校児童、中学校・高等学校の生徒

(3)募集期間

平成30年5月7日（月）から平成30年9月7日（金）まで

(4)締切日と提出先

平成30年9月7日（金）までにあなたの住んでいる市区町村または通学している学校のある市区町村の選挙管理委員会に提出してください。（市区町村によって異なることがありますので、詳しくは最寄りの選挙管理委員会にお尋ねください）

(5)画材

描画材料は自由（紙や布など、絵の具材料だけに限りません）

(6)大きさの基準

画用紙の四ツ切（542mm×382mm）、ハツ切（382mm×271mm）もしくはそれに準じる大きさ

(7)応募上のご注意

①作品のうら右下に、都道府県名、学校名、学年、氏名（ふりがな）を必ず記入してください。

②応募作品は、原則として返却しません。

③入賞作品の版権は主催者に属し、作品は自由に利用させていただきます。

④入賞者の学校名、学年及び氏名を公表させていただきます。

③審査

(1)第1次審査

各市区町村選挙管理委員会において、小・中・高別に選びます。

(2)第2次審査（地方審査）

各都道府県選挙管理委員会において、小・中・高別に応募数に応じ、所定の点数を選んだうえ、第3次審査（中央審査）へ提出します。

(3)第3次審査（中央審査）

第2次審査で選ばれた作品について、下記審査員により入賞作品を決定します。

文部科学省・総務省・公益財団法人明るい選挙推進協会・都道府県選挙管理委員会連合会の各代表審査員

④賞

(1)小・中・高別に次の賞を贈ります。

①文部科学大臣・総務大臣（連名）の賞状と公益財団法人明るい選挙推進協会会长・都道府県選挙管理委員会連合会会长（連名）からの副賞

小学校 各学年1名 中学校 各学年2名 高等学校 各学年2名

②公益財団法人明るい選挙推進協会会长・都道府県選挙管理委員会連合会会长（連名）の賞状と副賞

小学校・中学校・高等学校 各学年若干名

(2)第3次審査（中央審査）に提出された方全員に、公益財団法人明るい選挙推進協会会长から記念品を贈ります。

⑤発表

11月初旬の予定

主催 公益財団法人明るい選挙推進協会 都道府県選挙管理委員会連合会

都道府県選挙管理委員会 市区町村選挙管理委員会

後援 文部科学省 総務省 都道府県教育委員会 市区町村教育委員会

平成30年度明るい選挙啓発ポスターコンクール (第70回) 応募状況

都道府県	応募学校数				応募者数				中央審査提出数				
	小学校	中学校	高等学校	計	小学校	中学校	高等学校	計	小学校	中学校	高等学校	計	
北海道・東北	北海道	40	43	5	88	542	483	8	1,033	6	5	1	12
	青森県	13	25	7	45	149	190	40	379	3	3	4	10
	岩手県	69	35	14	118	956	199	152	1,307	8	3	6	17
	宮城県	88	55	1	144	293	314	6	613	3	4	1	8
	秋田県	14	19	7	40	226	93	53	372	3	3	6	12
	山形県	85	57	7	149	656	1,004	29	1,689	6	9	3	18
	福島県	37	46	4	87	117	526	41	684	3	3	3	9
関東甲信越静	茨城県	265	138	7	410	1,623	1,685	73	3,381	11	11	7	29
	栃木県	245	102	2	349	1,617	942	10	2,569	11	8	1	20
	群馬県	181	145	6	332	2,189	5,291	112	7,592	12	18	2	32
	埼玉県	354	157	22	533	6,648	3,147	143	9,938	24	16	10	50
	千葉県	227	84	6	317	1,231	1,100	10	2,341	9	9	1	19
	東京都	422	320	46	788	8,208	11,373	890	20,471	27	33	28	88
	神奈川県	106	78	13	197	1,207	841	73	2,121	9	7	7	23
	山梨県	89	54	4	147	2,057	2,218	95	4,370	12	13	5	30
	長野県	176	47	4	227	4,437	605	40	5,082	19	6	4	29
	新潟県	68	23	7	98	388	211	27	626	4	3	3	10
	静岡県	202	127	18	347	1,638	973	187	2,798	10	8	5	23
東海・北陸	富山県	49	52	3	104	197	517	68	782	3	6	6	15
	石川県	17	18	5	40	39	241	105	385	3	3	9	15
	福井県	56	46	2	104	592	889	24	1,505	6	7	3	16
	岐阜県	84	66	9	159	617	715	136	1,468	6	7	10	23
	愛知県	727	342	23	1,092	7,602	9,543	570	17,715	26	30	21	77
	三重県	68	51	5	124	723	905	52	1,680	7	8	4	19
	滋賀県	17	24	1	42	32	591	1	624	3	6	1	10
近畿	京都府	62	45	4	111	985	1,014	54	2,053	8	6	2	16
	大阪府	135	71	16	222	3,405	3,887	701	7,993	17	17	25	59
	兵庫県	269	164	24	457	1,915	4,508	245	6,668	12	19	13	44
	奈良県	31	23	5	59	603	1,307	21	1,931	6	10	3	19
	和歌山县	10	14	8	32	117	87	76	280	3	3	7	13
	鳥取県	21	10	3	34	35	68	57	160	3	3	6	12
中国	島根県	13	17	2	32	167	157	2	326	3	3	1	7
	岡山県	25	45	5	75	82	558	47	687	3	5	5	13
	広島県	52	41	8	101	990	1,161	81	2,232	5	8	2	15
	山口県	57	46	8	111	159	375	132	666	3	4	2	9
	徳島県	72	43	4	119	460	718	14	1,192	5	7	2	14
四国	香川県	95	47	6	148	430	433	183	1,046	5	5	11	21
	愛媛県	125	63	14	202	758	716	166	1,640	7	7	11	25
	高知県	8	15	3	26	77	204	34	315	3	3	3	9
	福岡県	177	101	17	295	9,117	7,255	337	16,709	22	17	10	49
	佐賀県	75	41	7	123	534	695	122	1,351	6	6	9	21
九州	長崎県	53	38	12	103	203	638	65	906	3	6	6	15
	熊本県	42	22	7	71	82	74	33	189	3	3	2	8
	大分県	44	32	5	81	421	632	41	1,094	5	6	5	16
	宮崎県	80	41	6	127	481	294	23	798	5	3	3	11
	鹿児島県	48	39	5	92	220	716	26	962	3	7	3	13
	沖縄県	31	48	14	93	204	1,139	185	1,528	3	9	11	23
	合 計	5,224	3,160	411	8,795	65,429	71,232	5,590	142,251	367	386	293	1,046

※昨年度応募者数 146,338

文部科学大臣・総務大臣賞（18人）

学年	都道府県	氏名	学校名
小学1年生	福岡県	桑原 凜	築上郡上毛町立友枝小学校
小学2年生	京都府	宇野 りんか	京丹後市立豊栄小学校
小学3年生	愛知県	牧野 瑠音	清須市立西枇杷島小学校
小学4年生	静岡県	城野 結月	沼津市立静浦小中一貫学校
小学5年生	岩手県	中田 飛羽雅	下閉伊郡岩泉町立釜津田小学校
小学6年生	岩手県	播磨 愛和	久慈市立夏井小学校
中学1年生	福島県	三瓶 瑞希	本宮市立白沢中学校
	神奈川県	中村 友	茅ヶ崎市立鶴が台中学校
中学2年生	富山県	村椿 かずみ	黒部市立高志野中学校
	鹿児島県	武田 一美	南さつま市立万世中学校
中学3年生	群馬県	吉田 天龍	前橋市立南橘中学校
	福井県	親崎 智乃	丹生郡越前町立越前中学校
高校1年生	埼玉県	石崎 紗音	県立芸術総合高等学校
	島根県	斎田 詩乃	県立松江北高等学校
高校2年生	東京都	小柳 のゆり	都立大泉桜高等学校
	神奈川県	伊藤 幸乃	県立神奈川工業高等学校
高校3年生	富山県	那須川 剛	県立滑川高等学校
	香川県	浅野 葵	県立高松工芸高等学校

大臣賞



小学1年生 桑原 凜 福岡県 築上郡上毛町立友枝小学校

動物たちと一緒に選挙に行く様子がとても楽しそうに描かれています。描かれているそれ
ぞれの人や動物たちの表情がとても愛らしく、こんな風に楽しく選挙に行けるようになると
いいなという作者の思いが伝わってきます。



小学2年生 宇野りんか 京都府 京丹後市立豊栄小学校

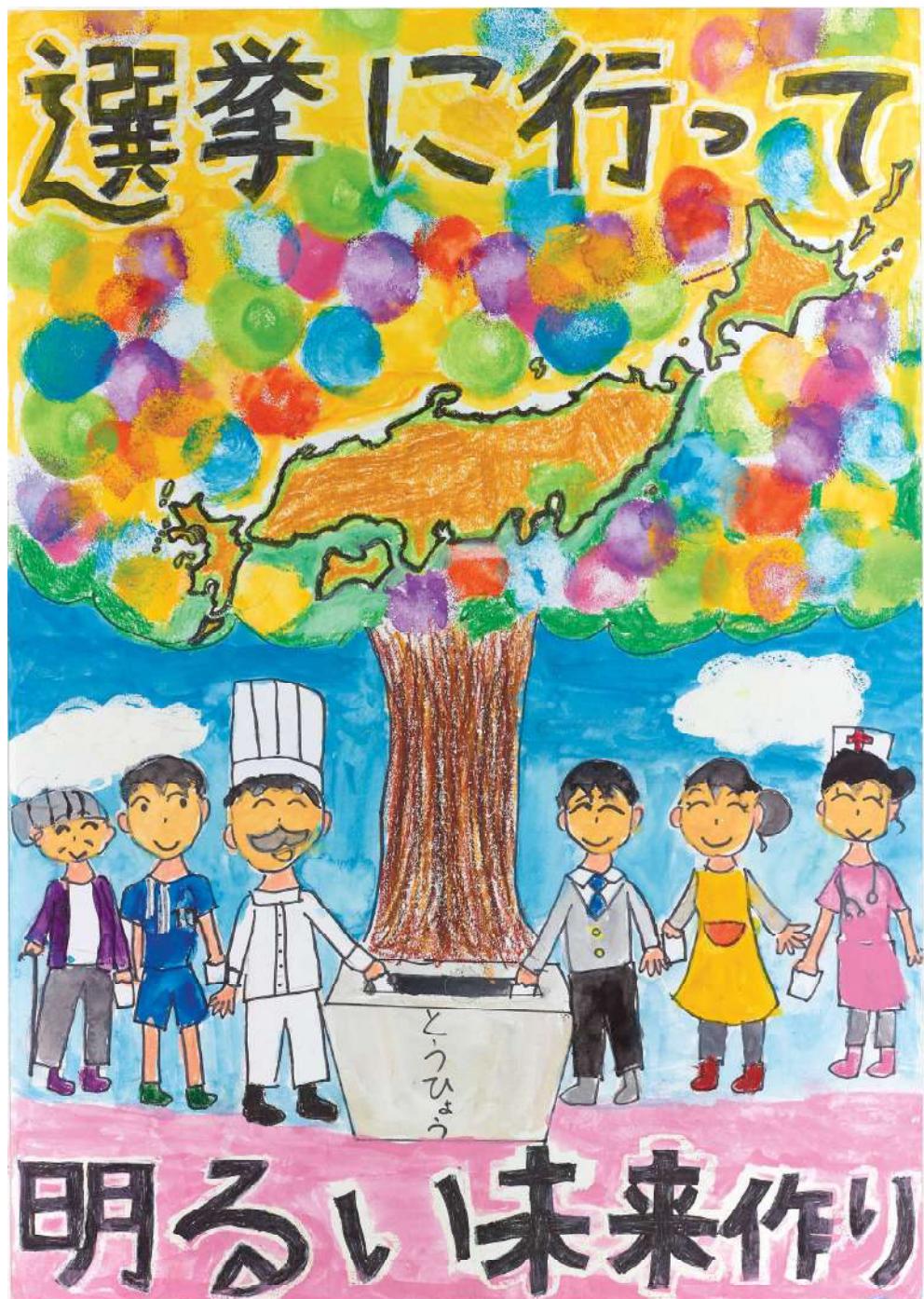
たくさんのかたちやいろをつかって投票所の様子がとても楽しく描かれています。投票箱や画
面全体にちりばめられた一つ一つ丁寧に描かれたハートや星が明るい選挙のイメージを上手
く表現しています。

大臣賞



小学3年生 牧野 瑠音 愛知県 清須市立西枇杷島小学校

「その1ぴょつが花をさかせる」のキャラクターフレーズのように画面を左右対称になるようにとても工夫して描かれていて、男の子と女の子を中心にお花が咲いたように感じさせてくれる表現がとても面白い作品です。



小学4年生 城野 結月 静岡県 沼津市立静浦小中一貫学校

いろ き あか せんきよ しうちゅう にほん おお き
色とりどりのカラフルな木が明るい選挙を象徴しています。そんな日本という大きな木の
した えが さまざま しょくぎょう ひと とうひょう ようす すべ ひと せんきよ
下に描かれている様々な職業の人たちが投票をしている様子が、全ての人にとっての選挙が
たいせつ うま ひょうげん
大切であることを上手く表現しています。

大臣賞



小学5年生 中田 飛羽雅 岩手県 下閉伊郡岩泉町立釜津田小学校

見る人にマラソン姿の人たちが迫ってくるように感じさせるとても迫力ある表現です。投票箱をゴールに見立てて、投票の重要性を表現するアイデアも独創的で面白い作品です。



小学6年生 播磨愛和 岩手県久慈市立夏井小学校

日本全国の各地の名産が明るい選挙を呼びかけるというとても楽しいアイデアのポスターです。一つ一つの名産がとても丁寧に、そして可愛らしく表現されていて、誰にも楽しみながら選挙について考えさせてくれます。

大臣賞



中学1年生 三瓶 瑞希 福島県 本宮市立白沢中学校

大きな虹に向かって、天使の羽をもつ一票が飛び立とうとしています。画面の中の一つ一つは日常見るものが描かれていますが、それを巧みに構成して不思議な世界を生み出し、選挙の重要性を伝えています。



中学1年生 中村 友 神奈川県 茅ヶ崎市立鶴が台中学校

18歳選挙権をテーマに大変シンプルで洗練されたデザインで表現した作品です。全体を形や色彩を厳選しながら平面的に表す中に、立体的な投票用紙をもつ手を配してとても印象深い作品に仕上がっています。

大臣賞



中学2年生 村椿 かずみ 富山県 黒部市立高志野中学校

急速に発展する様々なテクノロジーのおかげで、私たちの生活はとても便利になっています。このポスターはその便利さの中に何か失っているものがあるのではないかと見る人に伝えようとしているようです。



中学2年生 武田一美 鹿児島県 南さつま市立万世中学校

民芸品を見るようなどこか懐かしい風景が私たちの心に訴えかけます。そういった情景からこのポスターは、日本のどの場所においても明るい選挙の実現が大切であることを私たちに伝えてくれます。

大臣賞



中学3年生 吉田 天龍 群馬県 前橋市立南橋中学校

投票記載台で投票用紙を書く姿の向こうにはこれからの中には明るい選挙の実現は、私たちの生きるこれからの未来を創ることにつながっていく、そんな作者の思いが表現されているようです。



寝ているだけじゃ

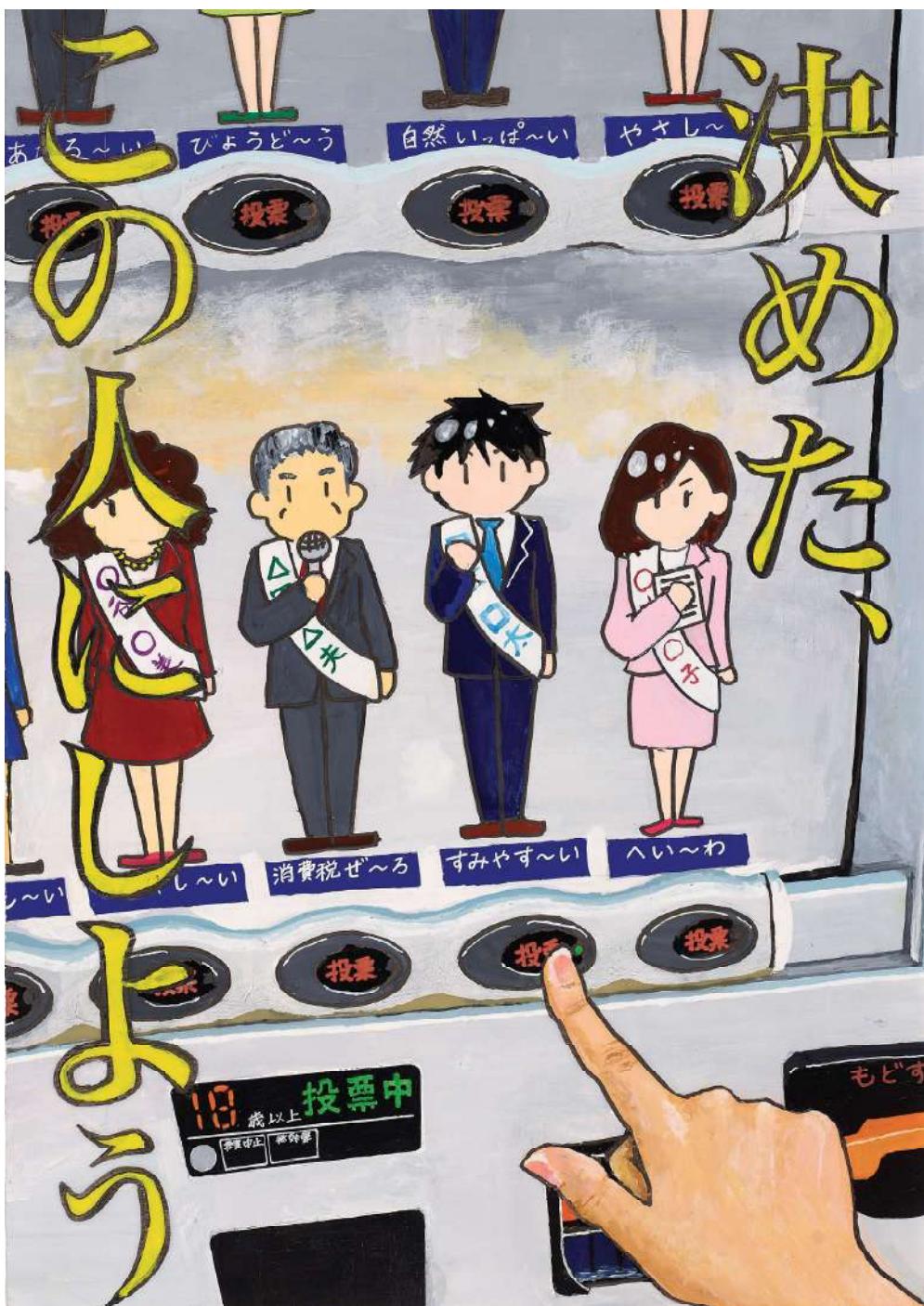


変わらない

中学3年生 親崎智乃 福井県丹生郡越前町立越前中学校

擬人法を用いて表現された独創的なポスターです。気持ちよさそうに寝ている猫の横で票をくわえた小鳥が「寝ているだけじゃ変わらないよ」と催促している姿がユーモアたっぷりで見る人を楽しませてくれます。

大臣賞



高校1年生 石崎 紗音 埼玉県 県立芸術総合高等学校

投票を自動販売機に見立てて、明るい選挙の実現を伝えようとしているポスターです。細部にまで気を配り、自動販売機の特徴を上手く生かして選挙について描いている遊び心あふれる作品です。



高校1年生 斎田詩乃 島根県 県立松江北高等学校

背景に描かれた空高くまっすぐに飛ぶ飛行機が、投票用紙を持つ人物の強い意志を象徴しています。伝えたいことを厳選して表現することで、よりメッセージ性の強い作品に仕上がっています。



高校2年生 小柳 のゆり 東京都 都立大泉桜高等学校

洗練された文字だけで構成された作品です。「幸」から一票の「一」を取り出したアイデアが秀逸です。左上から差し込む斜めの線が、画面に動きを出しているとともにこれから明るい未来を映し出しているようです。



高校2年生 伊藤 幸乃 神奈川県 県立神奈川工業高等学校

スタートダッシュをねらう姿が、18歳選挙権のこれからの中実の必要性をとてもよく表現しています。描かれた主人公の強い意志を感じられる表情が「準備はいいか」のキャッチフレーズとともに見る人の心に残ります。



高校3年生 那須川 剛 富山県 県立滑川高等学校

スマートフォンの充電を伝えている状況を投票率に見立てるアイデアがとても面白い作品です。日常に起こる身近な出来事から主題に迫るからこそ、誰もが注目し、共感できるポスターになっています。



高校3年生 浅野葵 香川県 県立高松工芸高等学校

幅広い年齢層を数字で表現する発想がとてもユニークな作品です。「30」に抱かれている「2」や、杖をもっている「80」など、数字なのに投票に行くそれぞれの人々を見ているような気持ちにさせてくれるポスターです。

**公益財団法人明るい選挙推進協会会长・
都道府県選挙管理委員会連合会会长賞(60人)**

学年	都道府県	氏名	学校名
小学1年生	東京都	五味 晃一	国分寺市立第二小学校
	大阪府	松本 良寛	大阪市立味原小学校
小学2年生	静岡県	武田 緋聖	加藤学園暁秀初等学校
	大分県	釜堀 未央	速見郡日出町立日出小学校
小学3年生	青森県	佐藤 彪琉	青森市立大野小学校
	新潟県	本間 祐未	新潟市立上所小学校
小学4年生	群馬県	石川 未来	太田市立宝泉小学校
	東京都	加藤 穂	渋谷区立鳩森小学校
小学5年生	群馬県	戸矢 晴人	吾妻郡東吾妻町立坂上小学校
	山口県	橋野 杏梨	熊毛郡平生町立平生小学校
	愛媛県	山内 汐月	伊予市立郡中小学校
	福岡県	篠倉 世抄	古賀市立花見小学校
小学6年生	北海道	山下 夢來	登別市立幌別東小学校
	秋田県	池田 晴柾	秋田市立桜小学校
	埼玉県	三村 小夏	戸田市立戸田南小学校
	埼玉県	草川 萌	比企郡滑川町立月の輪小学校
	長野県	石川 遙	飯田市立山本小学校
	新潟県	岡澤 凜佳	新潟市立紫竹山小学校
	福岡県	岳本 遥	糟屋郡宇美町立桜原小学校
	宮崎県	貞廣 我空	宮崎大学教育学部附属小学校
	沖縄県	當山 桜子	島尻郡南風原町立北丘小学校
中学1年生	宮城県	宮守 うらら	石巻市立青葉中学校
	群馬県	富沢 謙信	高崎市立榛名中学校
	埼玉県	村嶋 爽	戸田市立戸田中学校
	東京都	鈴木 優衣	国分寺市立第三中学校
	愛知県	細井 亜美	知立市立知立南中学校
	大阪府	永田 和紗	豊中市立第八中学校

学年	都道府県	氏名	学校名
中学2年生	山形県	塚原 みのり	山形市立第六中学校
	福島県	平 瑠梨	会津若松市立第一中学校
	埼玉県	鈴木 琴葉	白岡市立篠津中学校
	千葉県	盛田 咲蓮	市原市立市原中学校
	奈良県	田中 朱春	北葛城郡上牧町立上牧中学校
	福岡県	杉山 結香	筑上郡上毛町立上毛中学校
	沖縄県	古堅 李帆	中頭郡読谷村立読谷中学校
中学3年生	栃木県	松本 汐音	下都賀郡壬生町立南犬飼中学校
	神奈川県	菊池 壮哉	三浦市立初声中学校
	山梨県	河西 優希	甲府市立東中学校
	三重県	廣森 稔良	龜山市立龜山中学校
	徳島県	笠井 優里	徳島市徳島中学校
	香川県	近井 梨央奈	三豊市立和光中学校
	愛媛県	日野 杏菜	伊予市立伊予中学校
	高知県	依光 柚季	南国市立香長中学校
	佐賀県	原 光将	鳥栖市立基里中学校
高校1年生	茨城県	北島 あゆみ	県立土浦第二高等学校
	石川県	長岡 希歩	小松市立高等学校
	愛知県	山本 武蔵	山本学園情報文化専門学校高等課程
	兵庫県	稻垣 晶子	県立伊丹北高等学校
	熊本県	宇野 彩花	県立大津高等学校
高校2年生	秋田県	佐藤 有可	県立増田高等学校
	千葉県	大嵩 平	県立千葉南高等学校
	東京都	崎田 瑛皓	都立六郷工科高等学校
	滋賀県	田中 美帆	県立栗東高等学校
	和歌山県	和田 万里奈	和歌山市立和歌山高等学校
	岡山県	佐々木 良緒	県立岡山工業高等学校
	広島県	服部 理久斗	県立熊野高等学校
	長崎県	梅崎 健史	県立佐世保西高等学校
高校3年生	神奈川県	市原 浩樹	川崎市立中央支援学校高等部分教室
	岐阜県	大村 実咲	県立多治見工業高等学校
	高知県	久万 木乃香	高知市立高知商業高等学校
	宮崎県	今村 朱里	県立小林高等学校

会長賞



小学1年生 五味 晃一
東京都 国分寺市立第二小学校



小学1年生 松本 良寛
大阪府 大阪市立味原小学校



小学2年生 武田 篤聖
静岡県 加藤学園暁秀初等学校



小学2年生 釜堀 未央
大分県 速見郡日出町立日出小学校

会長賞



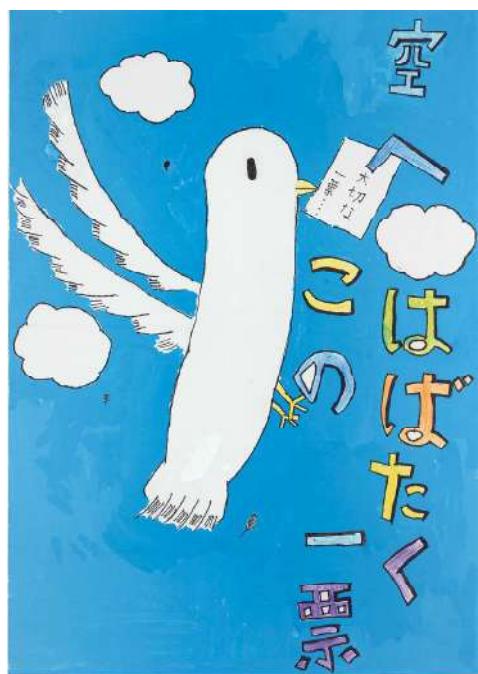
小学3年生 佐藤 彪琉
青森県 青森市立大野小学校



小学3年生 本間 祐未
新潟県 新潟市立上所小学校



小学4年生 石川 未来
群馬県 太田市立宝泉小学校



小学4年生 加藤 穂
東京都 渋谷区立鳩森小学校

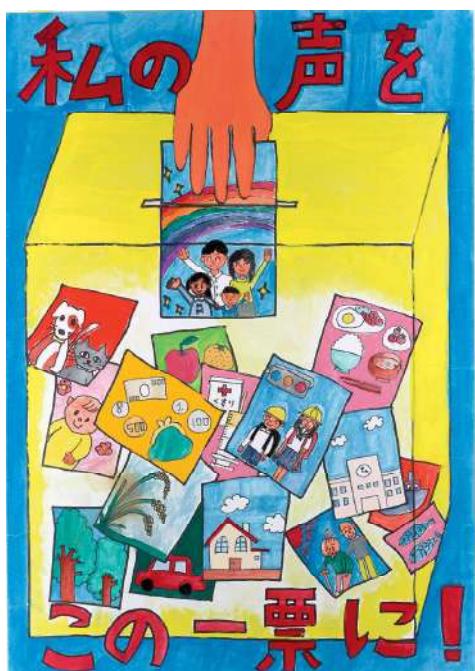
会長賞



小学5年生 戸矢 晴人
群馬県 吾妻郡東吾妻町立坂上小学校



小学5年生 橋野 杏梨
山口県 熊毛郡平生町立平生小学校



小学5年生 山内 汐月
愛媛県 伊予市立郡中小学校



小学5年生 篠倉 世抄
福岡県 古賀市立花見小学校

会長賞



小学6年生 山下 夢來
北海道 登別市立幌別東小学校



小学6年生 池田 晴柾
秋田県 秋田市立桜小学校



小学6年生 三村 小夏
埼玉県 戸田市立戸田南小学校



小学6年生 草川 萌
埼玉県 比企郡滑川町立月の輪小学校

会長賞



小学6年生 石川 遙
長野県 飯田市立山本小学校



小学6年生 岡澤 凜佳
新潟県 新潟市立紫竹山小学校



小学6年生 岳本 遥
福岡県 糟屋郡宇美町立桜原小学校



小学6年生 貞廣 我空
宮崎県 宮崎大学教育学部附属小学校

会長賞



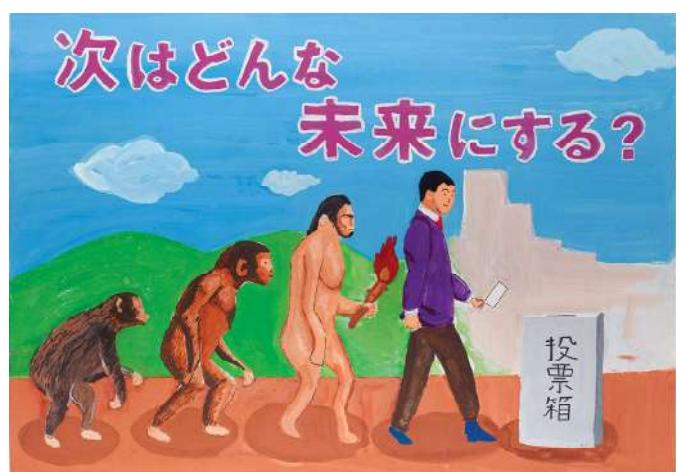
小学6年生 當山 桜子
沖縄県 島尻郡南風原町立北丘小学校



中学1年生 宮守 うらら
宮城県 石巻市立青葉中学校



中学1年生 富沢 謙信
群馬県 高崎市立榛名中学校



中学1年生 村嶋 爽
埼玉県 戸田市立戸田中学校

会長賞



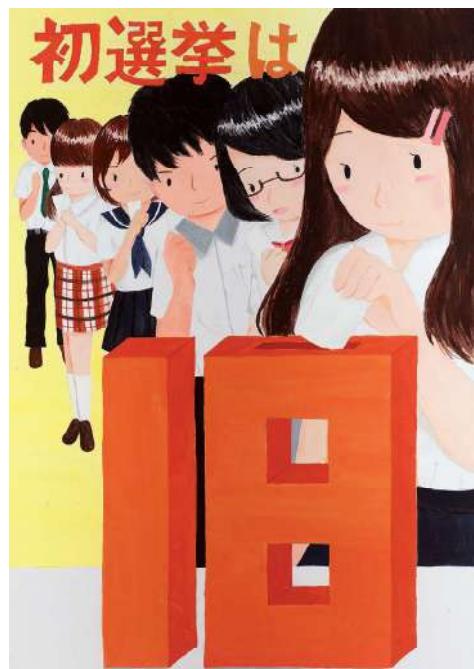
中学1年生 鈴木 優衣
東京都 国分寺市立第三中学校



中学1年生 細井 亜美
愛知県 知立市立知立南中学校



中学1年生 永田 和紗
大阪府 豊中市立第八中学校



中学2年生 塚原 みのり
山形県 山形市立第六中学校

会長賞



中学2年生 平 瑠梨
福島県 会津若松市立第一中学校



中学2年生 鈴木 琴葉
埼玉県 白岡市立篠津中学校

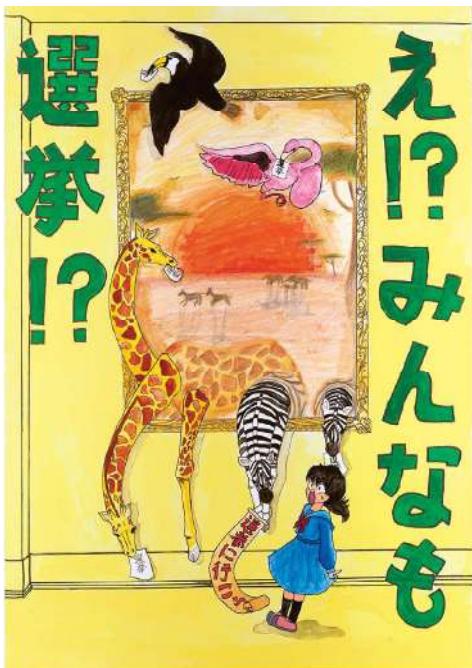


中学2年生 盛田 咲蓮
千葉県 市原市立市原中学校



中学2年生 田中 朱春
奈良県 北葛城郡上牧町立上牧中学校

会長賞



中学2年生 杉山 結香
福岡県 築上郡上毛町立上毛中学校



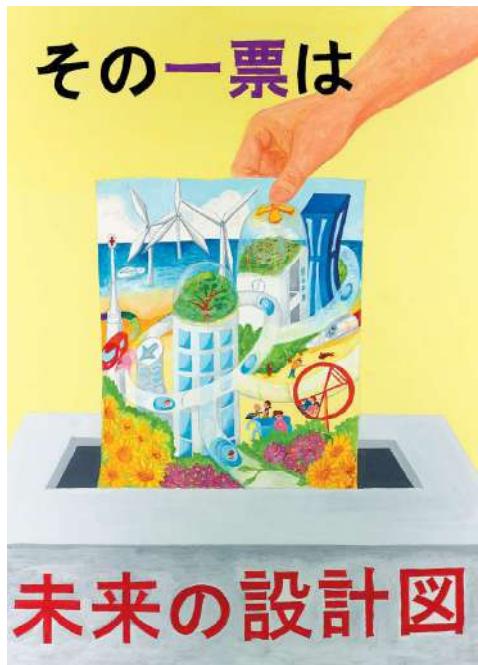
中学2年生 古堅 李帆
沖縄県 中頭郡読谷村立読谷中学校



中学3年生 松本 汐音
栃木県 下都賀郡壬生町立南犬飼中学校



中学3年生 菊池 壮哉
神奈川県 三浦市立初声中学校



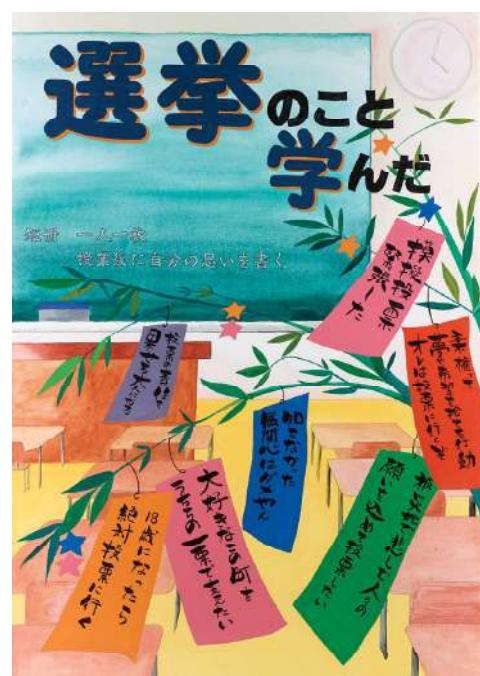
中学3年生 河西 優希
山梨県 甲府市立東中学校



中学3年生 廣森 稔良
三重県 龜山市立龜山中学校



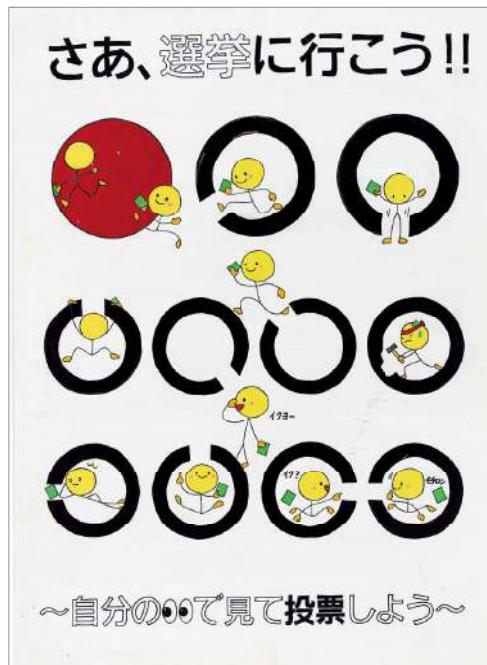
中学3年生 笠井 優里
徳島県 徳島市徳島中学校



筆者 一ノ瀬
投票权に自分の思いを書く

中学3年生 近井 梨央奈
香川県 三豊市立和光中学校

会長賞



中学3年生 日野 杏菜
愛媛県 伊予市立伊予中学校



中学3年生 依光 柚季
高知県 南国市立香長中学校



中学3年生 原 光将
佐賀県 鳥栖市立基里中学校



高校1年生 北島 あゆみ
茨城県 県立土浦第二高等学校



高校1年生 長岡 希歩
石川県 小松市立高等学校



高校1年生 山本 武藏
愛知県 山本学園情報文化専門学校高等課程



高校1年生 稲垣 晶子
兵庫県 県立伊丹北高等学校



高校1年生 宇野 彩花
熊本県 県立大津高等学校

会長賞



高校2年生 佐藤 有可
秋田県 県立増田高等学校



高校2年生 大嵩 平
千葉県 県立千葉南高等学校



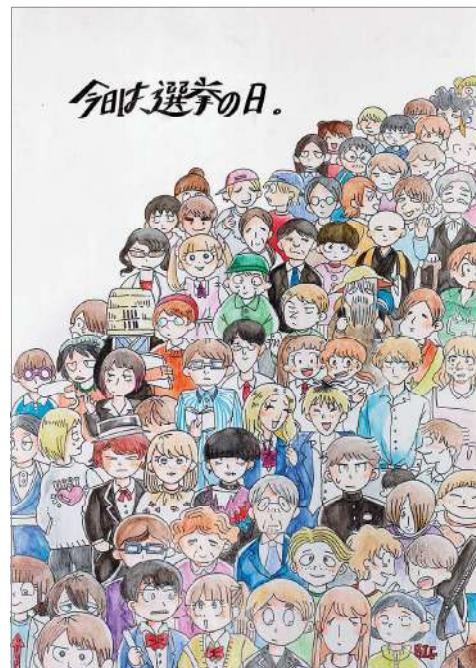
高校2年生 崎田 瑛皓
東京都 都立六郷工科高等学校



高校2年生 田中 美帆
滋賀県 県立栗東高等学校



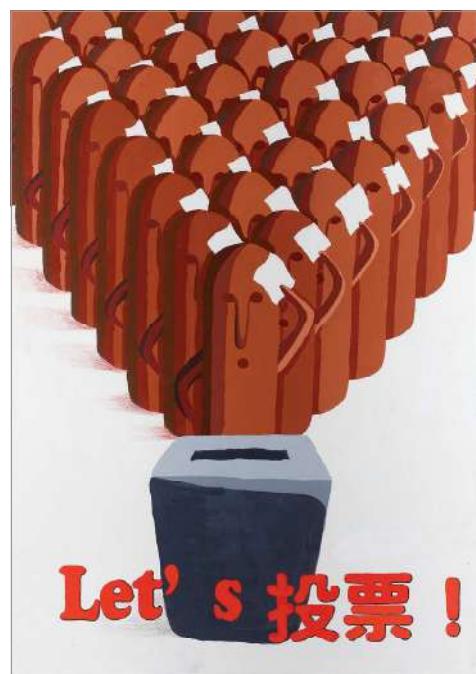
高校2年生 和田 万里奈
和歌山県 和歌山市立和歌山高等学校



高校2年生 佐々木 良緒
岡山県 県立岡山工業高等学校



高校2年生 服部 理久斗
広島県 県立熊野高等学校



高校2年生 梅崎 健史
長崎県 県立佐世保西高等学校

会長賞



高校3年生 市原 浩樹
神奈川県 川崎市立中央支援学校高等部分教室



高校3年生 大村 実咲
岐阜県 県立多治見工業高等学校

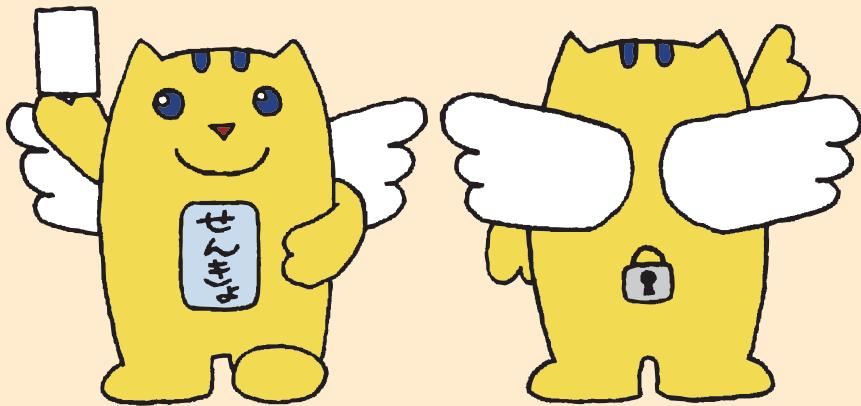


高校3年生 久万 木乃香
高知県 高知市立高知商業高等学校



高校3年生 今村 朱里
宮崎県 県立小林高等学校

このキャラクターは？



名前は「選挙のめいすいくん」。

明るい選挙推進運動のイメージキャラクターとして2000年4月に誕生しました。
「明るい」の「明」と、「推進」の「推」を引用して名前が付けられました。
投票を呼びかけるイベントや街頭啓発などで活躍しています。

「選挙のめいすいくん」をよく見てみると…

実は「選挙のめいすいくん」は投票箱をモチーフにしたキャラクター。頭にあるトラのしま柄のような2本の縦線は投票用紙の挿入口なのです。また投票箱の鍵をモチーフにした尻尾や、明るい選挙の実現に向かっていくための翼もついています。見かけた時はぜひ確かめてください。

明るい選挙啓発ポスターコンクール（平成30年度） 全国優秀作品集

発行日 平成31年1月18日

編集・発行 公益財団法人明るい選挙推進協会

住所 東京都千代田区一番町13-3 ラウンドクロス一番町7F

電話 03-6380-9891

ホームページ <http://www.akaruisenkyo.or.jp/>

メール akaruisenkyo@mua.biglobe.ne.jp

だから
宝くじは、
みんなの暮らしに
役立っています。



だから
宝くじは、図書館や動物園、

学校や公園の整備をはじめ、

災害に強い街づくりまで、

みんなの暮らしに役立っています。

